

令和元年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 **最終**)

安浦中学校区 校番35 学校名 呉市立安登小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標を達成するために必要な課題を明確にした上で目標設定をし、それに基づいた指標も客観的に判断しやすく設定されている。 ・全体的に目標達成率が高いため、来期の目標を高めにする。 「防災教育」について、目標及び指標があるとよかった。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の意欲をかりたてるような授業、「安登塾」「アトラ学習会」などを取り入れ、効果が上がっている。 ・新体力テストの結果は、全体的には向上しているが、学年差個人差が大きい。反復横跳びを取り入れてはどうか。
自己評価の結果と分析の適切さ	B	<ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはん・メディアの時間の項目は、自己評価と保護者の評価にかなりの差がある。 ・「返事の大きさ」について、児童の肯定的回答と教師の評価にかなり差がある。何をどうすればよいかを児童に考えさせる等、指導と評価の工夫が必要である。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・長い間・課題となっている自主勉強への取組は、教員の熱意が感じられる。 ・それぞれの結果を把握し、適切な改善策が設定されている。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・1学期・2学期に比べ、授業を含め校内の雰囲気良くなり変化を感じた。縦割りの交流は効果的である。「靴そろえ」は自然に身に付きつつある。 ・規範意識や基本的な生活習慣については、学校・地域・家庭が同じ目線で取り組む必要がある。校外でのあいさつができればより良い。 ・「STOP9」の取組は、簡単かつ明確で、継続しやすい基本的ルールだと思う。保護者の協力を促すためには、配布物での情報提供だけでは不十分である。PTAと団結してよりよい方法を模索してみてもどうか。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成率の高かった項目については、来期の目標を高めにする。 ・「防災教育」に関わる目標や指標を設定する。 ・「返事の大きさ」における目標を、子ども達に考えさせることで具体的に設定する。
--------------------	--